

2004年の愛知県美術館でのテーマ展「アブリオリ」以来の個展発表になります。人間の生命と色彩の赤色について引き続き取り組んだ絵画作品の新作を発表します。

私たちは命が自ずからある存在です。この自ずからということが自然であり、それを信じて疑いません。始まりは知らない間に起こり、生命力によって命は続いています。

大昔、血と葉緑体は同じものであって、動物の体の中に入ったものが「赤色」になって、植物の体の中に入ったものが「緑色」になったということ、何かで知りました。色彩は自然によって組織されています。

青空を見て、きれいだと感じる人は多いでしょうが、同時にその向こうには暗黒の宇宙が果てなく広がっていると想像する人がどのくらいいるでしょうか？逆に宇宙から見た地球は青くてとても美しいという認識が、スペースシャトルや人工衛星から届く映像でごく一般的になってしまいました。しかし一般化されたその「美」は果たして本物でしょうか？

私たちの一般化された生活には、無知による無関心が他者によって勝手に押し付けられています。それによって生命力が本来持つ鋭敏な感受性も鈍くなっています。

タイトルのBehindは作品の中では視座を表します。このモチーフの不可解、あるいは不明瞭な一つの事象が現実から乖離するその距離を、私たちは経験と想像力に基づいて計測しなければなりません。具象絵画が表す鮮やかなイリュージョンは、純粋にもう一つの世界を現実と呼び覚ますことができると思います。



中條直人 展

NAKAJO Naohito



2009年 5月 11日 (月) - 22日 (金)

10.00 - 18.00 (土・日は休み)

オープニング 5/11 (月) 18.00 -

名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

www.vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp/clas/

主催：名古屋大学現代芸術研究会

共催：名古屋大学教養教育院

助成：財団法人 愛銀教育文化財団

アクセス

・地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 備出口より西へ5分
全学教育棟本館南入口棟

・車の場合は17時までに南門より、用務を伝え入構の上、
出構時に清算してください(100円/時間)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学全学教育棟
Tel: 052-789-4725 名古屋大学教養教育院)



BEHIND

